

令和6年
3月号

三陽新聞



雪が融けるほど暖かい日が続いたかと思えば、また雪が降り積もってしまいました。冬に逆戻りとなりましたが、1日ごとに日が長くなり、春は確実に近づいているようです。

入居者の皆様にも季節を感じていただけるような行事を実施いたしました。今回はその様子をお伝えしたいと思います。



2月3日は節分レクを行いました。豆に見立てたボールを鬼に投げいただき、口に入ると鬼退治成功です。鬼は職員の手作りですが、今年は新作も登場しました。簡単そうに見えますが、ボールが鬼の牙や鼻に当たってなかなか入らず白熱しました。皆様に福が訪れますように♪



ひな人形が各フロアに登場しました。「立派なひな壇だね」「毎年飾っていたな」などとお話しながら記念撮影をしました。ひな祭りは女の子のお祭りとされていますが、男性の入居者様も「昔孫に買ってあげたんだ」と懐かしそうに眺めていました。お昼はひな祭りメニュー。色鮮やかなちらし寿司には桜の塩漬も使用しており、ささやかながら春を感じていただけました。



握り寿司



2月9日、お寿司を提供いたしました。栄養士が事前にお好きなネタを伺い、厨房スタッフと協力して可能な限り個別対応も行いました。

「久しぶりのお寿司、嬉しい!」「まぐろが美味しかったよ～」と普段よりも速いスピードで食べ終わっていらっしゃいました。いつもは小食な方も完食されており、職員も驚いていました。



編集後記

三陽は農試公園に面しており、春になると窓から桜を見ることができます。今は雪景色ですが、暖かい日差しの中お花見できる日が待ち遠しいです。寒い日が続きますが、入居者の皆様に健康にお過ごしいただけるようサポートして参ります。ご家族様におかれましても、お体に気をつけてお過ごしください。